

令和5年度 校内研修計画（案）

I 研究主題

自分の考えを持ち、友達と伝え合い、学び合う児童の育成
～思考ツールを活用した授業づくりを通して～

II 主題設定の理由

これからの社会は少子高齢化、情報化、グローバル化、人工知能の発達などの社会的変化が加速度的となり、ますます先を予測することが困難となることが予想される。このようなことを踏まえ、学習指導要領では、子ども達が様々な変化に積極的に向き合い、他者と協働して課題を解決していくことや様々な情報を見極め、知識の概念的な理解を実現し、情報を再構成するなどして、新たな価値につなげていくこと、複雑な状況変化の中で、目的を再構築することができるようにすることが求められている。

本校では、平成30年度から令和3年度の4年間、算数の授業において、「知念スタンダード」の学習過程を進め、児童が学習のめあてを共有し、解決のために計画や見通しを立て、お互いの対話の中で学び合いながら課題を解決していく、『友達と協働して問題を解決する児童の育成』に取り組んできた。その成果として、「ヒントのおかげで自分の考えを持つことができる児童が増えた。」「お互いの考えを伝え合う場面を設けることで、意欲的に学習する児童が増えた。」「ペア学習では相手意識をもって活動しようとする姿が見られるようになった。」などが挙げられる。しかし、「全体の学び合いの場では、考えを発表することに自信が持てない児童が多い。」「限られた一部の児童の意見が全体の意見になり、対話的な活動ができない。」「出された考えを広げたり、深めたりすることができない。」などの課題も見えてきた。

そのため、令和4年度は、友達と協働して問題を解決するための新たな手立てとして『思考ツール』の活用を試み、理論研修や授業実践を行った。思考ツールは、自分の考えや情報を可視化し、整理できるため、話し合いなどの場面で児童が「主体的」「対話的」に関われる状況を生み出すことができる。それを、繰り返し活用していくことで自分の考えをしっかりと持ち、自信を持って表現することができるのではないかと考えた。その結果、実施した児童アンケートからも、「自分の考えを書くことができた。」「考えが整理できて分かりやすい。」「他の思考ツールも使ってみたい。」など、自分の考えを表現することに意欲的な回答が多くあり、思考ツールが効果的であったことが分かった。

このことから、今年度も思考ツールを活用した授業実践において児童が主体的に学ぶ場面を多く設定することで、自分の考えに自信を持って表現ができ、対話的な学びが生まれ、深い学びにつながると考える。

そこで本年度は、主題を「自分の考えを持ち、友達と伝え合い、学び合う児童の育成」とし、サブテーマに「思考ツールを活用した授業づくりを通して」と設定した。

III 研究の仮説

各教科の特性に応じた問いを解決する場面において、思考を可視化・整理する「思考ツール」を活用することで、児童一人ひとりが自分の考えを持ち、友達と伝え合い、学び合う児童を育成することができるであろう。

IV 本研究でめざす児童像

- 思考ツールを活用し、自分の考えを持つことができる子
- 自分の考えをわかりやすく伝え、友達の考えを聞き合える子
- 様々な考えから、学びを広げたり深めたりできる子

V 研究の方針

- (1) 全職員の共通理解のもとに研究を進める。
- (2) 毎週水曜日の放課後を学年での合同教材研究日とし、授業づくりや指導案作成を行う。
- (3) 計画に応じて講師を招聘し、「思考ツール」の活用に対する研修を深める。
- (4) 全体研修として、授業研究会（主事招聘授業）を持ち、その後、一人一授業を行う。
- (5) 一人一授業は隣学年で参観し、授業反省会にて研究の深まりと指導技術の向上を図る。
- (6) 研究集録には、全学級・専科の実践研究を掲載する。
- (7) 法定研修にかかる職員は、それを一人一授業としても良い。

VI 研究の内容（具体的な取り組み）

1 研究主題に関すること

- (1) 「思考ツール」についての理論研修
- (2) アンケートでの児童の実態把握と分析（6月、12月）
- (3) 各教科の特性に応じた問いを解決するために適した思考ツールの選択・実践

2 研修に関すること

- (1) 教育機器（電子黒板・タブレット）の活用の仕方
- (2) 実技教科に関する研修
- (3) Q-Uテストに関する研修
- (4) 知念の史跡に関する研修

3 研究のまとめ

- (1) 研究集録の作成（データ保存）

VII 年間計画（予定）

月 日	曜日		内 容
4月5日	水	学力向上連携委員会	○本年度の研究テーマや実践事項の共通確認 ○授業の進め方の共通確認
4月25日	火	校内研修（師範授業）	○思考ツールを活用した師範授業（ 年 組）
5月26日	金	校内研修	○講師を招聘しての講話（思考ツール）
6月中			○児童アンケートの実施（1回目）
6月7日	水	校内研修	○ICTに関する研修（ロイロノート）
7月20日	木	学力向上連携委員会	○第1回 児童アンケートの結果について ○1人1授業の取り組みについて
7月21日	金	校内夏季研修①（午前）	○知念の史跡に関する研修
7月25日	火	校内夏季研修②（午前）	○実技教科に関する研修
7月27日	木	校内夏季研修③（午前）	○Q-Uテストに関する研修
12月頃		校内研修	○主事招聘授業（ 年 組） ○授業研究会
12月中			○児童アンケートの実施（2回目）
1月5日	金	学力向上連携委員会	○第2回 児童アンケートの結果について ○研究集録の作成（データ保存）について ○次年度の校内研修についての職員アンケート
2月 日		教育計画検討会③	○次年度の校内研修についての検討 ○研究集録作成
3月22日	金	学力向上連携委員会	○次年度の校内研修について

※知念小・中学校合同授業研究会…お互いに授業を参観し合う。（日程は後日決定）